

SOS ニュース

< 職場のトラブルとメンタルヘルス >

『(ブラック企業) 電話相談 1042 件』

厚生労働省は9月2日、パワーハラスメントや長時間労働等労働環境が劣悪な「ブラック企業」に関して、同省が実施した無料電話での特別相談の結果を公表した。1042件(速報値)の相談があり、賃金が支払われないサービス残業の相談が556件と全体の半数以上を占めた。上司の暴力といった深刻なパワハラ被害も目立った。大学生や若年労働者の間ではブラック企業への不安が広がっている。厚労省は各地の労働局の情報などを参考に離職率の高い企業の労働実態を調べる等対策を本格化させる。相談内容の内訳は「賃金不払い企業」が53.4%「長時間労働・過重労働」が39.7%、「パワーハラスメント」15.6%が続いた。業種別では製造業20.4%、商業19.9%が多かった。相談者は20代、30代が其々25%で20~30代で半数を占める。

…「ブラック企業」と言う言葉をよく耳にするようになりました。一方で企業のコンプライアンスに関する対応も進んでいます。「企業は人なり」を今一度噛みしめたいものです。

※ 参考：日本経済新聞より